

# 復興事業への理解深まる

## 10月1日 赤十字健康まつりに参加

工事調整会議は、10月1日に開催された2016赤十字健康まつり（石巻赤十字病院）に参加して①バーチャル・リアリティ映像による石巻大橋と河口までの旧北上川沿いの現在と未来の紹介、②パネル展示による復興事業および工事調整会議の取組みの紹介を行いました。



当日は、晴天に恵まれ多くの皆さんが訪れました。

健康まつりへの出展は初めてでしたが、工事調整会議のコーナーにも120名を超える皆さんが来場し、映像やパネルを見学しました。

ドローンで撮影された映像やバーチャルリアリティ映像を見た来場者からは、「このように整備が進んでいるんだ」「本当にこのようになればいいね」「動画を見て分かりやすかった」「今までにない視点で北上川を見た」など感想が寄せられました。

また、「内海橋が完成した段階で中瀬を含めた交通はどうなるのか」などの質問がありました。皆さんに事業をより深く知って頂いた機会になりました。



## 第2回 コラム リバイブ 縄張神社

～復興によせる石巻の人々の思い～

前回のコラムでは川村孫兵衛を紹介しました。北上川改修工事は昼夜を徹して測量が行われ大量の縄を使用しました。その縄が納められ、御神体になっている神社が千石町にある「縄張神社」です。

400年以上前の人力工事ほとても大変でした。工事が遅れ、川の氾濫で困っている住民たちから「川の改修なんてできっこない！」

という声があがることもありましたが、孫兵衛は諦めず、人夫たちをいたわり一生懸命に作業を続け、見事に北上川改修工事を成功させました。

現代の石巻川開き祭りでは、縄張神社の神輿渡御、大綱引き大会奉納の神事を通し、孫兵衛への感謝の気持ちが受け継がれています。



石巻市千石町『縄張神社』

参考文献  
『みやぎの先人集「未来への架け橋」』平成25年3月発行 宮城県教育委員会  
『石巻市の歴史』平成28年4月発行 石巻市教育委員会

# 事業が進む

## 雲雀野・新門脇地区

工事調整会議では、復興事業を円滑に推進させるため、複数の発注者間や近隣事業者間で生ずる様々な工事上の課題の調整を行っています。

今回は、国・県・市が実施する多くの工事が進められている

雲雀野・新門脇地区の現状（平成28年10月）をお伝えします。

宮城県が防潮堤工事（堤防高7・2m）を実施しており、石巻区では総延長16・7kmの工事が始まり、雲雀野地区ではその姿が見えてきています。



この防潮堤は、国土交通省が施工する旧北上川の河川堤防とながり、津波に対応します。

また、石巻市が実施している新門脇地区の工事では、高盛土道路（地区内延長11080m、高さ113・5m以上）の南光湊線（平成28年12月一部完成予定）も見えてきています。

南光湊線が開通すると、新門

脇地区の生活道路や、旧北上川の西側に沿っている道路（大街道石巻港線）と接続されます。

門脇西復興住宅（平成28年12月完成予定）や門脇東復興住宅（平成28年10月完成）などの姿も見えてきています。

次回の「リバイブいしのまき」は平成29年2月発行予定です。